

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
440007	XY3440007	2	前期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
ベンチャービジネス	藤田 美幸			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択	3年
情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択	3年				
授業目的							
「アントレプレナーシップ」について検討します。 具体的には、アントレプレナーシップ（起業、創業）という現象がなぜ生じるのか、アントレプレナーシップを生じさせる構造はどうなっているのか、アントレプレナーシップと地域再生や地域活性化にはどのような関係があるのかについて検討します。 アントレプレナーとは会社を起業する人や企業組織の中で新しい組織やビジネスとネタと組織や人を結びつけて、新しいものを生み出す人のことです。こうした人々は経済発展の原動力になったことが高く評価されており、その機能について考察します。 本講義では、理論をとおしアントレプレナーシップを醸成します。 またアントレプレナー（起業家・企業家）をお招きし、スタートアップ企業の実情についても学びます。							
なお、この科目は「自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力を養う」ための科目のひとつになります。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】イントロダクションー講義のガイダンス、ベンチャービジネスの講義内容ー 【前・後】教科書を事前に購入し、目次と第一章を読んでおく				第 9 回 【授】プレゼンテーションの技術ープレゼン・ソフトでの発表資料作成法 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習（教科書を参照すること）、4 時間相当の事前事後学習			
第 2 回 【授】起業をめぐる環境要因 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習（教科書を参照すること）、4 時間相当の事前事後学習				第 1 0 回 【授】ゲストスピーカーー アントレプレナーシップについて学ぶ *都合により変更の可能性あり 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習（教科書を参照すること）、4 時間相当の事前事後学習			
第 3 回 【授】起業家論ーアントレプレナーシップ（起業家精神）に関する研究 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習（教科書を参照すること）、4 時間相当の事前事後学習				第 1 1 回 【授】中間発表 【前・後】グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4 時間相当の事前事後学習			
第 4 回 【授】チームビルディングーアイデア創造ー 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習（教科書を参照すること）、4 時間相当の事前事後学習				第 1 2 回 【授】ビジネスプランの作成 3 -グループ別- 【前・後】グループ別に分かれビジネスプランの再考、4 時間相当の事前事後学習			
第 5 回 【授】ビジネスプランについてービジネスプランの構成要素ー 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習（教科書を参照すること）、4 時間相当の事前事後学習				第 1 3 回 【授】ビジネスプランの作成 4 -グループ別- 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習（教科書を参照すること）、4 時間相当の事前事後学習			
第 6 回 【授】ビジネスプランについてーマーケティング戦略ー 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習（教科書を参照すること）、4 時間相当の事前事後学習				第 1 4 回 【授】最終発表 【前・後】グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4 時間相当の事前事後学習			
第 7 回 【授】ビジネスプランの作成 1 -グループ別- 【前・後】グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4 時間相当の事前事後学習				第 1 5 回 【授】総括ーダイジェストし、重要なポイントについて復習するー 【前・後】前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習（教科書を参照すること）、4 時間相当の事前事後学習			
第 8 回 【授】ビジネスプランの作成 2 -グループ別- 【前・後】グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4 時間相当の事前事後学習				第 1 6 回			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							50
成果発表（口頭・実技）							50
演習							
その他							
授業態度・授業への参加 50%、成果発表（口頭・実技）50%の配分で評価します。 積極性が加味され、単に講義の時間に出てきても、プランの準備をしていないヒト、グループに貢献していないヒト、課題に対して貢献しないヒトは、授業態度・授業への参加の評価を減点します。 なお、発表は全員で評価し、その結果をポータルで公表します。また教員より出来具合について講評します。							
教科書参考書							
柴田 英寿『アントレプレナーシップ論講座-みんな、心に、起業家精神!』日刊工業新聞社、2013 年							
受講に当たっての留意事項							
授業では、知識や理論のインプット学習と、グループに分かれバーチャルでビジネスプランを作成・発表するアウトプット学習により理解を深めます。 アントレプレナーのゲストスピーカーをお招きします。遅刻厳禁かつ私語厳禁。社会人としてマナーに反しますので 5 分遅刻の場合は入室はできません。また途中退出も認めません。 またゲストスピーカーのスケジュールの都合により授業内容の順番が前後します。							
学習到達目標							
本講義の到達目標 1. 社会や地域のイノベーションを推進する主体としてのスタートアップ企業の重要性を理解することができる。 2. スタートアップ企業の理論や実務など理解を通じて自身がアントレプレナーになった場合に必要な知識を身につけることができる。 3. ビジネスプランを作成することができる。 4. ビジネスプランを作成し、説得力のあるプレゼンテーションができる。							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：I							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習